

2010.6.3 (木) 晴れ	石転びから北股岳 (2,024.9m)	(1315) E/S
-----------------	------------------------	------------

<p>行程</p> <p>飯豊山荘先のゲート 4:53→砂防ダム 5:24→石転びの出合 6:58→梅花皮小屋 9:36→北股岳 10:08 10:14→梅花皮小屋 10:32 11:27→石転びの出合 12:24→ゲート 14:07</p> <p>登り5時間15分 下り2時間58分</p>
--

お天気の良い日が続くので山に行きたくなっている時、所属する新潟の山の会のAさんSさんの2人から石転びから北股岳へのお誘いが有り、「落石その他危険な所」も有り経験者の同行が必要コースなので喜んで行く事にしました。初めてのコースなので期待と不安で！ワクワク、ドキドキ！と幾つになっても子供みたい。

飯豊山荘先の駐車場で待ち合わせ、支度をして歩き出す。温身平まで車道を歩き、砂防ダムに着き一休み。ダムからは今雪解けの水が多く物凄い音で落下して居る。此处から梅花皮沢の右を歩く沢沿いの「へつり道」。沢に落ちないように注意しながら少し行とサンカヨウの白い花が綺麗に咲いていました。程なく沢に雪渓が現れ雪の上を歩く事になる。雪渓には割れ目や大きな穴も、穴の中からは！ゴオーゴオー！と大きな水の音も、この雪の下は激流が流れて居るのです。此处に落ちたら命の保証は有りません。危ない所には近づかない事。今日の装備は「ダブルストック、10本爪アイゼン、ピッケル」10本爪アイゼンを着けるのは今日が初めて、早速練習の為此处からアイゼンを着け歩く事



サンカヨウ



奥に飯豊山

にする。石転びの出合で先行して居た男の人に追いつく。この人は此处から門内沢を登り門内岳、北股岳を回り、石転び沢を下りるそうです。此处から見る石転び沢はそんな大した登りには見えず、すぐ稜線迄行けそう。所が歩きだすとそんなに簡単なものではない。石転びの出合から稜線の小屋まで標高差「1000メートル」それも雪の上を登る。出合から30分も登ると所々に雪崩の跡や大小の落石が転がっている。こんな石に直撃されたら終



わりだろうと思いながら登る。そろそろ斜度も厳しく成りシグザグに登る。下を見ると怖い、でも見ると1人、又その下に2人、登って来るのが豆粒ぐらいになって見える。この辺りから雪も少し固く成りアイゼンを慎重に踏み込んで1歩1歩登る。先行する2人に離される。Aさんは会のリーダーで私より少し若く足が早いので有名、又Sさんは私より10歳近く若い。差

石転び出合

が出るのは当然。2人から離されるが無理をしないで私のペースで歩く。草付きの島に着き、そこから左にコースを取っていると、前日小屋に泊まりで下山している人が「大きな声」で！左にコースを取ってはダメー右にコースを取れ！と指示される。右にコースを取っていると、今度は！其処から真っすぐに登れー！と指示される。此処から300メートル位が1番の急斜面。直登は苦しい。雪も固くアイゼンを1歩又1歩と蹴り込み慎重に苦しい登が続く。又怖いので下は見ない。登りが少し緩くなり、前を見ると

目の前に梅花皮小屋が見えてきた。やっとこの苦しい登りも終わり、小屋の前でアイゼンを外しザックも置き北股岳に登る。3分の2位登ると雪が有りアイゼンを着けて居ないので滑落しない様に慎重に登る。今日は天候も良く360度の眺望を楽しみ小屋まで下山する。小屋の前の風の来ない所



石転びの途中から

で石転び沢を見ながら昼飯タイム。下山の事が心配だがその時はその時、深く考えると飯がまずくなる。「私〇型人間」成る様に成るさ、と何時もと一緒に深く考えない。

食事後少し休み、又アイゼンを着け下山。登りにはピッケルは使用しなかったが下山の時は雪にピッケルを差し込みながら滑落しない様にジグザグに1歩1歩慎重に下る。同行の2人は急斜面を下り緩やかな所で待っているが、私右足に不都合の所が有り下りは苦手。右足をかばいマイペースで下る。2人に追いつき、此処からは雪も柔らかく1直線にどん



どん下るだけ。はやーい、速い気持ちいい。小屋から1時間位で石転びの出合まで、登りは2時間半余り掛かったのに。此処でアイゼンを外す。大きなザックを背負った男の人が1人登って来ました。又雪渓見物の人が3人休んで居ました。どんどん下ると雪渓も終わりと近くなり、亀裂

石転び沢

や穴が有りその下は激流の水の音。危険な所には近づかない様注意しながら歩く。沢から上がり沢沿いの「へつり道」を落ちない様に気を付けながら歩き、砂防ダムの横を通り車道へ出る。此処から車道を30分余り歩きゲートに着く。駐車場で帰りの支度をし、それぞれの車で帰る。此のコース、体力的に無理かと思っていたが歩き通せて満足です。

(終わり)



北股岳山頂



北股岳